

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市2

千葉市立稲毛高等学校 全日制の課程 国際教養科

1 期待する生徒像

人物ならびに学習成績に優れ、入学後も学習活動に意欲的に取り組むとともに、多面的・多角的に課題を探究し続けることができる者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (面接)	受検者5名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ12分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [550点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	英語の得点を1.5倍の傾斜配点とし、他の4教科の得点（各教科100点満点）と合計して550点満点で評価する。

(2) 調査書 [165点満点]

アの数値に、イについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。第3学年で評定1の教科がある場合、または英語の評価が評定3以下の場合は審議の対象とする。
イ 特別活動の記録、部活動の記録、特記事項	英語検定等の各種検定について、一定の基準を満たすものについては加点する。
ウ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査(面接) [30点満点]

3名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し点数化する。3名分を合計したものを評価点とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 目的意識	高校生活に対する意欲、将来の目標が明確である。
ウ 適性・態度	質問内容を把握し適切に回答することができる。服装や身だしなみが整えられており、基本的な面接作法が身に付いている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点 面接	総得点
	評定(K=1)	加点		
550点	135点	30点	30点	745点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。